

高校生

春のチャレンジ・ラボ ～ひろしま街中で自由研究～

\\ 開催概要 //

高校生が叡啓大学とその周辺をフィールドに、アイデアの種を見つけてプロジェクトを作る「高校生春のチャレンジ・ラボ ～ひろしま街中で自由研究～」を開催しました。

広島や長崎、徳島、東京など、全国から37名の高校生、メンターを担う大学生8名が参加。自分達が大学生活を行ううえで住んでいて楽しいまちにするため「ハッピーイノベーションをおこす！」をテーマに、2日間でアントレプレナーシップ入門講義やフィールドワークに取り組み、「アイデアを見つける・磨く・プロジェクトにまとめる」ことを体験してもらいました。

参加者には、身近なモノゴトからアイデアの種を見つけ、磨き、形にする「ゼロからイチをつくる、何かを企てる」ための考え方や手法、楽しさを学んでもらうことができました。



大学生メンター



米田 歩未
(広島大学)



信行 純香
(広島大学)



福富 優一
(叡啓大学)



杉岡 昂輝
(広島大学)



ヒギンボサム 里咲
(叡啓大学)



岬 姫女
(叡啓大学)



藤本 康平
(叡啓大学)



久保 琴音
(叡啓大学)



伊藤 悠祐
(叡啓大学)

日時

▶ DAY 1.

2024年3月24日 (日)
10:00～17:00

▶ DAY 2.

3月25日 (月)
10:00～15:00

参加高校

東洋大学京北高校 (東京)
加計高校芸北分校 (広島)
県立広島高校 (広島)
広島県瀬戸内高校 (広島)
安田女子高校 (広島)
比治山女子高校 (広島)
山陽女学園高等部 (広島)
広島工業大学高校 (広島)
呉港高校 (広島)
武田高校 (広島)
近畿大学附属広島高校東広島校 (広島)
城南高校 (徳島)
長崎南山高校 (長崎)
N高校 (沖縄)

講師

合同会社ひとむすび
山田 芳雅



今回のワークでは、高校生も、メンターの大学生にも出会いと学びを体験してもらえたのかなと思っています！終わった後の、参加者の満足そうな笑顔を見られて嬉しかったです。

DAY 1. Report 報告

1日目は、アントレプレナーシップ入門の講義とフィールドワークに取り組んでもらいました。高校生4~5名と大学生1名で8チームをつくり、午前は「イノベーションとは何か」、「物事を見る際の視点や考え方」などを学び、その後、叡啓大学のキャンパスを使ってフィールドワークの練習も行ってもらいました。

午後からは、チームごとに広島市内でのフィールドワークを実施。それぞれのチームが街を歩きながら、「チームで取り組みたいこと、街に足りないこと、気になること（アイデアの種）」を見つけて帰ってきました。



DAY 2. Report 報告

2日目は、チームで「アイデアを磨く・プロジェクトにまとめる」ことに取り組んでもらいました。どのチームも1日目の入門講義で学んだ「物事を見る際の視点や考え方」を意識しながら、「各自がアイデアを発散させ、チームでアイデアを収束させる」ことを何度も繰り返し、フィールドワークで見つけたアイデアの種をプロジェクトにまとめていました。

最後に、各チームのプロジェクトを発表してもらい、メンター役の大学生から高校生のアイデアや発表に対して、講評・応援メッセージを送りました。



Voice 参加者の声

本気のディスカッションができた。課題に対してのアプローチの仕方や、疑問を掘り下げてみんなで考えることの大切さを分かりやすく教えてくださったため、新たな発見があった。
(高校生)

話しやすい雰囲気では一人では考えられなかったことを考えられてよかった。フィールドワークも班の人と意見を共有できたりして楽しかった。
(高校生)

話すのが楽しくてグループにも馴染むことができた。拡散したり沈黙になった時に、大学生メンターが流れや空気を変えてくださって本当にすごい!と思った。
(高校生)

アイデアの整理や人の頭の中で思い描いていることの言語化のお手伝いが難しかった。発表の構成やアイデアの収束の部分で貢献できたと思え、いい時間だった。
(大学生メンター)



一人ひとりが違った価値観を持っていて、それを知ることができた。普段は自分一人で考えることが多いが、チームでアイデアや思いを共有して、一つの形にするという貴重な体験ができた。新しい視点やアプローチを見つけることができた。
(高校生)



高校生たちの考えを引き出すことを大切にできた。言葉のトーンも含めて、トーン表情で大丈夫なのだということを知らせてあげられるように努力した。良いチームに関わることができ素晴らしい発表だった。
(大学生メンター)

高校生のアイデアは、今の大学生にはない視点や高校生だから思うことなどがありとても面白かった。
(大学生メンター)

高校生たちが楽しそうだったのが良かった。ここは意見を言っていんだという空気づくりを大事にした。すごいクオリティーの発表ができていた。初めて本格的にファシリテーションを経験し、難しさも感じたが、高校生たちが主体となってやるお手伝いができた。
(大学生メンター)

Ideas 発表内容

チーム 明るいダバタアンパンマンかサラダ推し

広島に住む人も、来る人も、世界の文化に触れることで楽しませたい！との思いで、広島市内に近い山の中に、世界の文化を取り入れたWorld Townをつくる。広島に、色々な国の要素をつめ込んだ新しい遊び場を提案した。



チーム 春坊's

フィールドワークで感じた観光客と地域に住む人との距離。そこから地元の人が観光客と関わろうとする気持ちが大事だと考え、観光客と交流を持つイベントを考えた。地域の人が出店したり、カーテンを飾ったり、住民が自分の好きなことで鮮やかな街を演出するアイデア。



チーム マスカット

広島を訪れる人が、自分の行きたい場所や、やりたいことを入力することで、ツアー内容や広島の名物を盛り込んだカスタマイズされたパンフレットを作成・提案するサービスアイデア。世界に一つだけのオーダーメイドパンフレット。発表では、英語と日本語でプロトタイプを作った。



チーム シャレオ盛り上げ隊

「シャレオに活気を戻す」をテーマに、空テナントを活用した託児所を設ける企画とシャレオが賑わうイベントの開催を提案。働く人・買い物する人をターゲットに、子どもも遊具で楽しめ、親も買い物を楽しむ。また、高校生や大学生がワークショップや出店をし、空テナントの解消で活気を取り戻し、小さい子供からお年寄りまで幅広い層が訪れることを目指すアイデア。



チーム レバ刺しみたいな生サーモン

生け花の文化の継承を目指し、若い人たちが生け花に身近に触れられ、普段から五感を使いワクワクしながら過ごすことができる日常をつくる。バドミントンのラケットを使った生け花など、意外性のある生け花も飾る。



チーム SIX I (シックスアイ)

住む人と観光客をターゲットにした「地図の情報サイト」と「アプリ」を作成することで、スムーズなまち歩きや魅力発見をサポートするアイデア。アプリはスタンプラリー式イベントに対応し、サイトは休憩スポットや混雑状況などの情報も盛り込む。



チーム ONIGIRI'S

人がギュッとつながれ、集まれる空間をつくるアイデア。本通りの空テナント等を利用して、普段は高校生も利用できるフリースペースとしてリラックスできる場所を提案。定期的に、高校生が主体のイベントも開催する。発表では、実際に具体的な空間を見せた図を共有した。



チーム Happy GUNDAM

外国人観光客を増やすことを目的に、ツアー企画×ゲストハウスを組み合わせたアイデアの提案。人が訪れることで地域を潤し、訪問者との交流を増やすことで世界を身近に感じ、世界に羽ばたく人を増やす。ゲストハウスは日本らしい自由なコミュニティ。ツアー企画では地元の人がガイドをして、みんなが知らない場所にも案内するというアイデアも！

